市報 おまぐち

2025
4/1
April
No.454

特集 令和７年度予算とまちづくりの概要 2
■令和７年度組織改編のお知らせ 8
■新本庁舎棟が完成 9
■第 30 回中原中也賞 10
■市政トピックス 11
■県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」 12
■交通政策課からのお知らせ 12

令和７年度予算とまちづくりの概要

問 企画経営課 ☎ 083-934-2747、財政課 ☎ 083-934-2750

令和７年度予算の基本的な考え方

「ともに築く　元気山口」予算

本市では、令和７年度予算を「ともに築く　元気山口」予算と位置付け、新市のまちづくりとして、これまで取り組んできた社会基盤整備を着実に仕上げながら、その上で、新市誕生20年を節目とする新たなまちづくりのスタートを切ることが可能な予算として編成しました。第二次山口市総合計画後期基本計画における各施策分野の取り組みや、６つの重点プロジェクトの取り組みを進めます。

第二次山口市総合計画　後期基本計画（計画期間：令和５年度～令和９年度）

「ずっと元気な山口」の実現

～誰もが活躍し　まちもひとも　今も未来も　元気な山口に～

都市も農山村もずっと元気なまち

歴史・文化などの個性が更に際立つまち

安全・安心で快適に暮らせるまち

６つの重点プロジェクト

- 子ども・子育て全力応援のまちづくり
- 若者活躍と雇用創出の環境づくり
- 人生100年時代の元気活躍のまちづくり
- 21地域づくりと農山村活性化
- 元気な県都づくり
- 持続可能な未来都市づくり

物価高の影響への対応

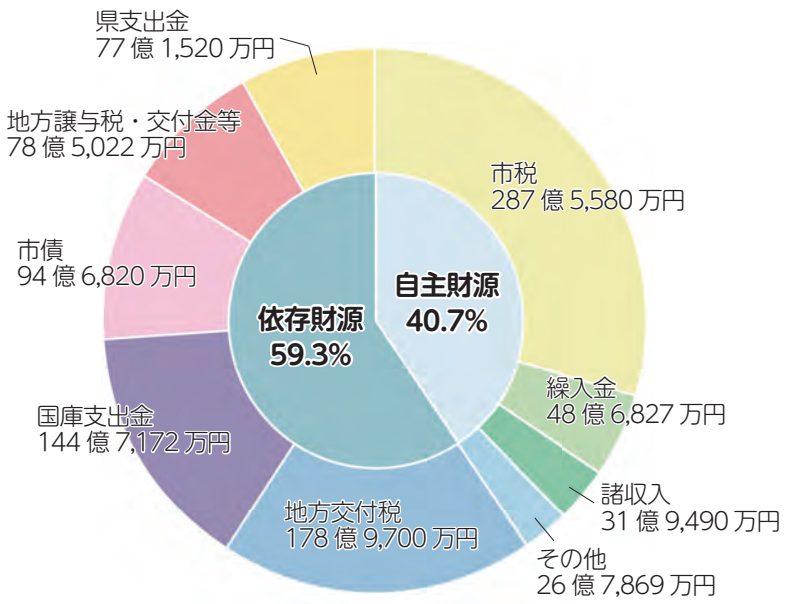
防災・減災対策

令和７年度一般会計当初予算総額

969億円（対前年度比で123億円減（11.3%減））

物価高の影響への対応などを切れ目なく進めるため、令和６年度における12月以降の補正予算と令和７年度当初予算を、いわゆる16カ月予算として一体的に執行します。

一般会計歳入

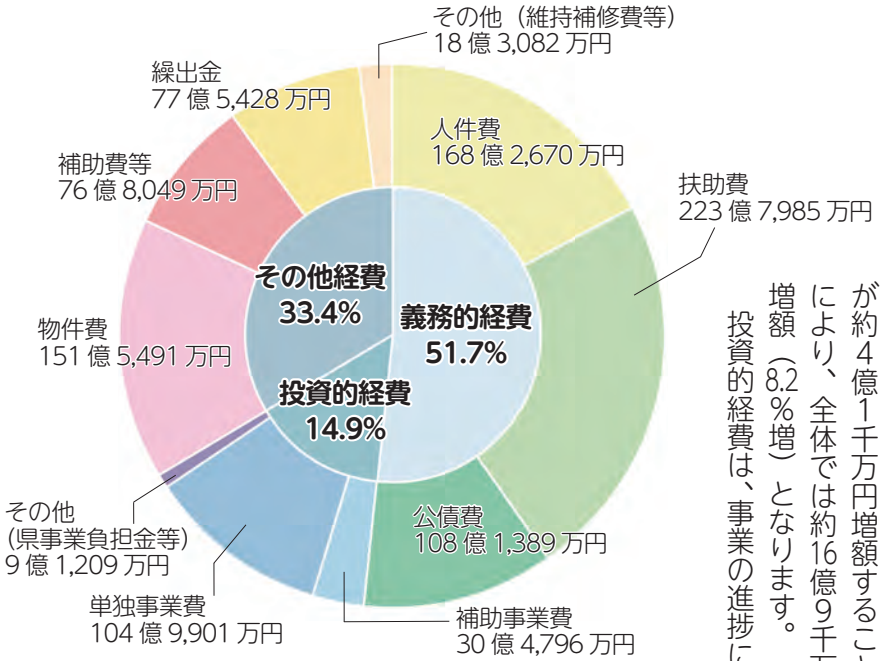


市税は、個人市民税が定額減税終了の影響等に伴い約９億７千万円の増額を見込むとともに、固定資産税が新築家屋の増加などにより約２億９千万円の増額を見込み、全体では約11億６千万円の増額（4.2％増）となります。

地方交付税は、令和６年度の交付決定額や地方財政計画などを踏まえ、普通交付税は同額、特別交付税は約４千万円の増額を見込み、全体では約４千万円の増額（0.2％増）となります。

市債は、地方財政計画を踏まえ、臨時財政対策債について発行額をゼロとするとともに、新本庁舎整備等の建設事業の進捗に伴う減額を見込み、全体では約107億９千万円の減額（53・3％減）となります。

一般会計歳出



人件費は、退職者の減により退職手当が約３億１千万円減少するものの、給与改定に伴い給与が増加することなどにより、全体では約３億９千万円の増額（2.4％増）となります。

扶助費は、児童手当の拡充の通年実施に伴い児童手当支給費が約６億２千万円、サービス給付費の増に伴い障害福祉サービス給付事業費が約４億１千万円増額することなどにより、全体では約16億９千万円の増額（8.2％増）となります。

投資的経費は、事業の進捗に伴い、新本庁舎整備事業費が約92億６千万円、湯田温泉パーク整備事業費が約30億８千万円、消防指令センター共同整備事業費が約13億８千万円減額することなどにより、全体では約145億６千万円の減額（50・2％減）となります。

物件費は、教材備品の更新の進捗に伴い小学校ＩＣＴ教育推進事業費が約１億８千万円、戸籍法の改正に係る対応の進捗に伴い戸籍管理事務費が約１億７千万円減額することなどにより、全体では約３億５千万円の減額（2.2％減）となります。

特別会計の予算内訳

特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のあるときに設けることができる会計です。原則、独立採算で運営します。

区　分	当初予算額	対前年伸率
国民健康保険	192 億 7,035 万円	▲4.1%
後期高齢者医療	40 億 6,186 万円	0.3%
介護保険	183 億 8,935 万円	1.2%
介護サービス事業	1,759 万円	5.6%
鋳銭司第二団地整備事業	3 億 3,708 万円	▲71.1%
地域下水道事業	842 万円	3.7%
国民宿舎	1,532 万円	22.6%
特別林野	1,006 万円	111.8%
合　計	421 億 1,003 万円	▲3.2%

令和７年度まちづくりの概要

令和７年度の主な取り組みについてご紹介します。
詳細については、右の二次元コードからご覧いただけます。

市公式ウェブサイト
「令和７年度当初予算資料」

市民生活の“安心”を守る取り組み ～物価高の影響への対応～

合計 約13億円

国の支援制度

- **住民税非課税世帯への「物価高騰対応重点支援給付金」の給付【6億7,466万円】**
- **子育て中の住民税非課税世帯への「物価高騰対応重点支援給付金」の加算給付【6,780万円】**

本市独自の支援

- **住民税均等割のみ課税世帯への「物価高騰対応重点支援給付金」の給付【1億800万円】**
- **子育て中の住民税均等割のみ課税世帯への「物価高騰対応重点支援給付金」の加算給付【1,100万円】**
- **住宅リフォーム工事への支援【1億2,100万円】**
- **プレミアム付きクーポンの発行等への支援【1億1,000万円】**
- **学校給食食材費の高騰分への対応【1億5,000万円】**
- **中小企業等の省エネ機器等導入への支援【1,000万円】**
- **化学肥料からの転換に向けた農業用機械導入等への支援【2,000万円】**
- **スマート農機等の導入への支援【2,200万円】**

学校給食の様子

市民生活の“安全”を守る取り組み ～防災・減災対策の加速化～

浸水対策の強化

- **雨水管理総合計画の策定【8,000万円】** 企業会計
  令和８年度の策定に向け、これまでの浸水被害状況などの基礎調査や既存水路等の現地測量調査を踏まえて浸水シミュレーションを行います。
- **小郡八方原地区への排水ポンプ設備の導入【1億5,320万円】**
  浸水被害が発生している小郡八方原地区において、新たに、移動式排水ポンプ設備の導入と、ポンプ排水に必要な排水管の整備を行います。
- **河川浚渫（しゅんせつ）の推進【6,000万円】**
  市内各地における河川氾濫による浸水被害の軽減に向けて、準用河川等のうち、危険度の高い箇所の浚渫工事を行います。

稼働中の移動式排水ポンプの様子

災害対応力の強化

- **消防通信指令業務の共同運用【8億1,647万円】**
  令和７年11月から、山口市・萩市・防府市の３市による「山口県央消防指令センター」の共同運用を開始します。災害発生時の情報を一元化することで、広域災害時などにおける迅速な消防連携・協力体制を構築します。
- **中央消防署の建て替え整備に向けた取り組み【2億240万円】**
  建て替え完了まで仮設庁舎として使用する、市役所別館（教育委員会庁舎）等の改修などを進めます。
- **新本庁舎への衛星通信網「スターリンク」の導入【570万円】**
  災害等により地上の通信設備が使用できない状況においても、安定した通信が可能な体制を整備します。
- **老人憩の家「潮寿荘」の避難所機能の強化【1,190万円】**
  老人憩の家「潮寿荘」（秋穂二島地域）の避難所機能の強化として、車中泊避難を想定した駐車スペースの確保に向けた整備を進めます。
- **阿東地域の豪雪対策（除雪基地整備等）【5,700万円】**

重点PJ 子ども・子育て全力応援のまちづくり

子育てなら山口

● 子育て家庭の負担軽減に向けた取り組みの推進

高校生世代までの子ども医療費無料化
【13億6,821万円】

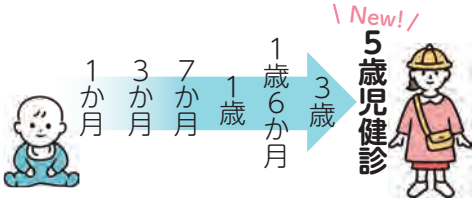
第２子以降の保育料無償化
【2億8,925万円】

１歳児健康診査の公費負担化
【775万円】

おたふくかぜワクチンの予防接種費用の一部助成
【1,097万円】

学校給食費の公費負担拡充
【2億549万円】一部補正

新 **公費負担による５歳児健康診査**
【1,108万円】



● 「山口市こども家庭センター」を中心とした子ども・子育て相談支援の充実

● 保育園・放課後児童クラブの定員拡大【75億3,213万円】

年間を通じた保育園等の待機児童の解消や、待機児童が発生している小学校区における放課後児童クラブの整備等に取り組みます。

令和７年度定員拡大
認定こども園：27人
放課後児童クラブ：305人

教育なら山口

● 小・中学校トイレの洋式化工事の加速化

市立小・中学校の校舎や体育館等に設置された児童・生徒用のトイレの洋式化工事を加速化します。

小・中学校トイレの洋式化率を…

95％に！

● 英語教育の推進【5,046万円】

海外とのオンライン授業の実施や、ALT・留学生等との交流を図るイベントを開催します。また、英語教員の指導力向上や英語教育の改善に向けた研修会を開催します。

● 「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の実施【1,278万円の内数】

市立小・中学校と山口情報芸術センター［YCAM］との連携による先進的な教育事業「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」として、「360°図鑑」の取り組みなどを実施します。

● コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進【694万円の内数】

● 市立中学校の部活動の地域移行に向けた取り組みの推進【2,223万円】

令和８年９月の部活動の地域移行に向けて、活動の受け皿となる地域クラブの設置・運営に向けた準備を進めます。

重点PJ 人生100年時代の元気活躍のまちづくり

健康都市づくりの推進

● 済生会山口総合病院の建て替え支援【2億7,520万円】一部補正

二次救急医療を担う済生会山口総合病院の建て替え整備に対する支援を行います。

● 帯状疱疹ワクチン予防接種費用の一部助成【987万円】

令和７年度から、65歳以上の方などを対象とした帯状疱疹ワクチンの定期接種が開始されます。本市独自の対応として、定期接種の対象外である50歳から64歳の方が受ける任意の予防接種に対して、接種費用の約半額を助成します。

元気活躍を支える地域福祉の推進

● グループタクシー利用促進事業【450万円】

高齢者の外出機会の創出・促進がさらに図られるよう、グループタクシーの利用対象者の要件を一部緩和し、利用が可能な方の範囲を拡大します。

グループタクシーの要件緩和

70歳以上

［これまで］
・75歳以上
・最寄りのバス停・駅までの距離700m以上

● 包括的な支援体制の推進 ～複合化・複雑化した課題への対応～【4,594万円】

「やまぐち『まちの福祉相談室』」をはじめ、関係機関との連携強化や相談支援体制の充実を図ります。

● 介護人材確保に向けた取り組み【1,297万円】

介護職員の資格取得支援や潜在的な介護人材の再就職支援などのほか、新たに、介護事業所の求人情報に係るリーフレット等の印刷や情報誌への掲載費用、求人情報サイトへの紹介料やホームページの作成経費を支援します。

重点PJ 若者活躍と雇用創出の環境づくり

若者活躍のまちづくり、人材確保支援、商工業・サービス業の活性化

● **大学生・若者等の地元就職の促進【3,360 万円】**
奨学金返還支援や初任給の引き上げ、各種手当等の福利厚生の充実に取り組む中小企業への支援を行います。また、中学生等を対象とした企業紹介・職業体験イベントや大学生と企業の交流会の開催、学生の目線で地元企業の魅力を発信する企業紹介情報誌の作成などに取り組みます。

大学生の企業訪問の様子

● **中小企業等の重点的な人材確保支援【1,200 万円】**
企業が行う採用活動への支援を行います。また、深刻化する人手不足への対応として、省人化・省力化機器等の導入支援を行います。

● **バス・タクシーの運転士確保支援【1,483 万円の内数】**

● **中小企業の経営基盤の強化【7 億 2,605 万円】**
企業の資金ニーズなどを踏まえ、市制度融資がより利用しやすいものとなるよう、制度改正を行います。

● **起業創業・新事業創出等への支援【8,000 万円】**

農林水産業の経営基盤の強化と担い手育成

● **小規模農家等が実施する農業用水路等の整備に対する支援【300 万円】**
農業者等が行う農道や農業用水路の整備に係る経費の一部を支援する制度を新設します。

● **スマート農業の推進【4,600 万円】一部補正**

● **農林水産業の新規就業者支援【3 億 5,560 万円の内数】**

改修中の道の駅「仁保の郷」の様子

● **道の駅「仁保の郷」の機能強化、道の駅「あいお」の移転整備に向けた取り組み【10 億 7,959 万円】**

重点PJ 21 地域づくりと農山村活性化

個性と安心の 21 地域づくり

● **地域の個性を活かす交付金事業【1 億 9,854 万円】**
従来の地域づくり交付金に加え、新たに「地域の担い手確保促進特別交付金」を創設し、地域の担い手確保や人材育成につながる事業を支援します。

● **平川地域交流センターの建て替え整備【10 億 5,345 万円】**

● **大内地域交流センターの建て替え整備に向けた取り組み、小鯖地域交流センターの機能強化・複合化に向けた検討【60 万円】**

● **阿東地域交流センター生雲分館の多目的広場整備【4,778 万円】**

● **地域の特性に応じた公共交通ネットワークの再構築【4 億 6,291 万円】**

農山村エリアの地域活性化

農山村エリアからの
転出超過
30％抑制
を目指します！

● **農山村エリアへの居住促進に向けた取り組み**
農山村エリア９地域（仁保、小鯖、陶、鋳銭司、名田島、秋穂二島、秋穂、徳地、阿東）の地域活性化に向け、「山口市農山村エリア居住促進計画」に基づく取り組みを進めます。

● **重源の郷体験交流公園のリニューアルオープン【4,019 万円】**
新たな施設コンセプト「花づくし・旨いものづくし・心づくし」のもと、市内外からの観光誘客と地域経済の活性化につなげていきます。

リニューアルオープン後の重源の郷イメージ図

● **「特定地域づくり事業協同組合」への支援【700 万円】**
一つの事業所による通年での雇用が難しい人口減少地域において、地域産業の担い手確保や移住・定住の促進に向けた支援を行います。

● **「周防鋳銭司（すおうのじゅせんし）」設置 1200 年記念事業の開催【300 万円】**

重点PJ 元気な県都づくり

広域県央中核都市づくり

一連の整備完了は令和 10 年度となる見込み

● **新本庁舎の整備【16 億 2,805 万円】**
令和７年５月の新本庁舎棟の供用開始ののち、現庁舎の解体工事を行います。

● **新山口駅周辺における飲食店の新規出店を支援する補助制度の創設【300 万円】**

● **新たな市制度融資「新山口駅周辺活性化対策資金」の創設【7 億 2,605 万円の内数】**

● **新山口駅周辺駐車場基礎調査の実施【1,500 万円】**
新山口駅周辺の駐車場が不足している状況への対応として、既存駐車場の現況などを把握するための基礎調査を実施します。

● **国道９号の早期事業化、国道２号の整備促進に向けた取り組み【4,069 万円】**

● **県農業試験場等の跡地利活用の検討【1,750 万円】**

● **県立大学南キャンパス跡地の利用方法の検討**

文化・観光・スポーツ資源を活用した交流創出

湯田温泉こんこんパークイメージ図

● **湯田温泉こんこんパークの供用開始【2 億 2,716 万円】**
令和７年６月に供用を開始し、年間を通じて多種多彩な企画事業を展開します。引き続き、駐車場整備等を進め、11 月にグランドオープン予定です。

● **令和８年山口デスティネーションキャンペーン（DC）に向けた取り組み【1,150 万円】**
DC 向け観光コンテンツの造成やプレキャンペーンにおける積極的な情報発信を行います。

● **インバウンド誘客の強化【3,478 万円】**
大阪・関西万博開催に合わせて増加が見込まれる訪日外国人に向けた重点的な情報発信などに取り組みます。

● **観光資源を活用した誘客促進【2,988 万円】**
本市の歴史、文化、自然、特産品などの多様な観光資源を生かした誘客促進に取り組みます。

● **周辺７市町や国内外の都市との広域観光連携の強化【2,618 万円】**
山口県央連携都市圏域の市町共同での観光コンテンツの開発やプロモーション事業をはじめ、国内外の都市との相互交流事業や連携事業を行います。

● **新市誕生 20 周年を契機としたシティセールス**
株式会社地球の歩き方による「地球の歩き方 山口市」の発刊を支援し、市民の皆様のシビックプライドの醸成を図るとともに、市外へのシティセールスに取り組んでいきます。

10 月発刊予定の「地球の歩き方 山口市」

● **山口情報芸術センター［YCAM］の企画運営【２億 4,970 万円】**

● **国宝瑠璃光寺五重塔の檜皮葺屋根葺き替えへの支援【1,167 万円】**

● **武道館の整備推進【3,500 万円】**
リフレッシュパーク内の芝生広場を建設候補地として、施設の基本設計や、建設候補地の地盤調査に取り組みます。

● **「我がまち」のスポーツ地域資源を活用した交流人口拡大・地域活性化・健康づくり【725 万円】**
本市ゆかりのトップアスリートや、プロサッカーチーム「レノファ山口 FC」と連携した取り組みを行います。

重点PJ 持続可能な未来都市づくり

ストックマネジメントの強化
新たに「行政経営課」を設置し、公共施設等の適正な管理や、市有財産等の利活用に向けた検討などの取り組みを進めます。

未来を担う人材育成
デジタル技術の活用
地域脱炭素の推進

未来に向けたチャレンジの応援
新たに「公民連携推進室」を設置し、企業や大学等との連携を強化することで、地域課題の解決や地域活性化に向けたさまざまな取り組みを進めます。

令和7年度

組織改編のお知らせ

市民の皆さんにわかりやすく、より効果的・効率的に施策の推進を図るため、4月1日付けで組織の一部を改編します。

問 行政経営課☎083-934-2909

重点的な取り組み

新設 行政改革のさらなる推進に向けて 行政経営課を設置

新たに総務部に「行政経営課」を設置し、組織改編や業務改革に向けた取り組み、持続可能な指定管理者制度に向けた運営手法の検討を行う「行革推進担当」と、公共施設・財産等のマネジメントの強化に取り組む「施設・財産マネジメント担当」を新設します。

問 行政経営課☎ 083-934-2909

再編 新本庁舎における総合窓口化に向けて 総合窓口課・戸籍住民課に再編

市民課を、住民票等の証明発行や引っ越し等のライフイベントに関する窓口サービス業務を行う「総合窓口課」と、住民基本台帳や戸籍等に関するバックヤード業務のほか、マイナンバーカードに関する業務を行う「戸籍住民課」に再編し、新本庁舎におけるワンストップやワンフロアで手続きができる総合窓口化に向けた組織体制を構築します。また、亡くなられた方に関する必要な手続きについて、ワンストップでサポートする「おくやみ窓口」を新設し、ご遺族の負担軽減を図ります。

問 総合窓口課☎ 083-934-4146
戸籍住民課☎ 083-934-2769

新設 総合支所における農林・土木業務の推進体制の強化

総合支所の農林、土木業務に関する組織マネジメントの強化に向けた見直しを行い、効率的な業務執行体制を構築し、迅速な課題解決を図ります。

	旧組織	新組織	連絡先
農林振興業務	小郡総合支所 農林課	南部農林振興事務所（小郡総合支所内）	振興担当☎ 083-973-2457 整備担当☎ 083-973-2446
	秋穂総合支所 農林土木課		
	阿知須総合支所 農林土木課		
	徳地総合支所 農林課	徳地農林振興事務所（徳地総合支所内）	農畜産振興担当☎ 0835-52-1115 整備担当☎ 0835-52-1116 森林活用・セラピー担当☎ 0835-52-1122
	阿東総合支所 農林課	阿東農林振興事務所（阿東総合支所内）	農畜産振興担当☎ 083-956-0984 整備担当☎ 083-956-0985 森林活用担当☎ 083-956-0987
土木業務	小郡総合支所 土木課	南部土木事務所（小郡総合支所内）	管理担当☎ 083-973-8162 維持担当☎ 083-973-8163 整備担当☎ 083-973-8146
	秋穂総合支所 農林土木課		
	阿知須総合支所 農林土木課		
	徳地総合支所 土木課	徳地土木事務所（徳地総合支所内）	管理担当☎ 0835-52-1112 維持・整備担当☎ 0835-52-1112
	阿東総合支所 土木課	阿東土木事務所（阿東総合支所内）	管理担当☎ 083-956-0998 維持・整備担当☎ 083-956-0979

業務執行体制の整備

再編 公民連携のさらなる強化に向けて 公民連携推進室に再編

地域課題の解決と地域経済の活性化に向け、企業や大学等とさらなる連携強化を図るため、スマートシティ推進室を「公民連携推進室」に再編します。

問 公民連携推進室☎ 083-934-2728

機能強化 地域団体等の支援強化に向けた体制の見直し

持続可能な地域づくりに向けて、柔軟に対応するため、21の地域交流センターの地域担当と行政窓口担当を統合し、「総合支援担当」を設置することで、支援体制を強化します。

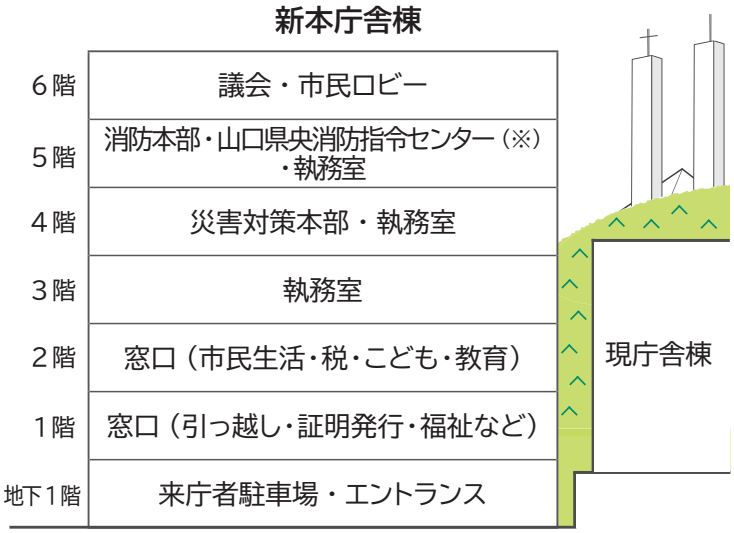
その他

- 管財課の所管する庁舎や公用車の適正な維持管理に関する業務について、総務課に「庁舎管理担当」を新設して移管
- 道路建設課に道路施設等の大規模な修繕工事等を担当する「長寿命化担当」を新設し、道路担当を「整備担当」に再編
- 道路管理課内の用地対策室を「都市整備部用地対策室」に再編
- 救急課の救急担当を「救急指導担当」と「救急管理担当」に再編
- 収納課の第一担当と第二担当を「収納担当」に統合
- 資産税課の家屋土地南部担当を「家屋担当」と「土地担当」に集約して再編
- 地籍調査課の第一担当と第二担当を「地籍調査担当」に統合

新本庁舎棟が完成

令和５年３月から建設工事を進めてきた新本庁舎棟が完成しました。地下１階・地上６階建てで、１・２階フロアに市民の皆さんの利用が多い窓口を配置しています。

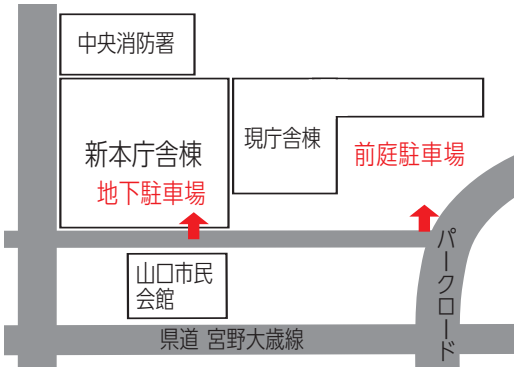
新本庁舎棟での業務開始は**５月７日（水）**（一部所属については４月28日（月）から（下表参照））となり、新本庁舎棟の機能や特徴については、市報やまぐち５月１日号で詳しくお知らせします。



※山口県央消防指令センターは、令和７年11月に運用開始予定。

駐車場のご案内

駐車場は新本庁舎棟の地下１階となります。南側から入庫してください。なお、当面の間は現庁舎棟の前庭駐車場もご利用いただけます。



組織改編に伴う執務室の変更

部署	元の執務室	新しい執務室	新しい執務室での業務開始日
資産税課（家屋土地南部担当）	小郡総合支所	現庁舎棟	４月１日（火）

新本庁舎棟完成に伴う執務室の移転

新本庁舎棟の完成に伴う執務室の移転部署および新本庁舎棟での業務開始日は、以下のとおりです。
部署によって、業務開始日が異なりますのでご注意ください。

部署	元の執務室	新しい執務室	新しい執務室での業務開始日
総務課（庁舎管理担当のみ）、デジタル推進課、本庁舎整備推進室、企画経営課、公民連携推進室、財政課、建築課	現庁舎棟	新本庁舎棟	４月28日（月） ※５月７日（水）までは、立ち入りを一部制限します。
環境部政策管理室、環境政策課、環境衛生課（南部衛生担当を除く）	清掃工場		
指導監査課、地籍調査課、監査委員事務局、公平委員会事務所	小郡総合支所		
その他現庁舎棟で執務を行っている所属	現庁舎棟		５月７日（水）
消防本部	消防本部		
教育委員会事務局（文化財保護課を除く）、選挙管理委員会事務局	市役所別館		

第30回

中原中也賞

受賞者決定

中原中也賞は、日本の近代詩史に足跡を残した本市出身の詩人、中原中也の業績を永く顕彰することを目的に、新鮮な感覚を備えた優れた現代詩の詩集に贈る文学賞です。

第30回となる中原中也賞は、2月に行われた選考会において、応募、推薦のあった247点の作品の中から、高村而葉（たかむらじよう）さんの『生きているものはいつも赤い』に決定しました。

受賞者には、正賞として中原中也ブロンズ像と、副賞として100万円を贈呈します。また、4月29日（火・祝）に第30回中原中也賞の贈呈式と北川透氏（詩人・文芸批評家）による記念講演を開催します。

問 文化交流課☎083-934-2717

選考委員評

本年1月に開催された推薦会での検討の結果、6冊が選ばれ、選考会の対象とされた。

最終的な議論の対象となった作品は高村而葉『生きているものはいつも赤い』、のもとしゅうへい『通知センター』だった。のもと詩集の「すごしやすく、ながい朝」「いま」などにはネット社会への違和感や抵抗感が見て取れる。軽みをもそなえ、現在を切り取る詩集として高く評価された。高村詩集は、掴んだ地点や身動きできないその場所に錨をおろすようにして言葉を刻む。言葉をめぐるためらいや、どこでどう生きるのかといった疑念や自問が滲む。生きるうえでぶつかる壁や困難から目をそむけず、時間をかけて編まれたと思われるこの一冊には稀なる完成度の高さがある。

最後まで白熱した討議の結果、高村而葉『生きているものはいつも赤い』を第30回中原中也賞にふさわしい詩集として委員全員一致で選出した。

高村 而葉

1977年大阪府大阪市大正区生まれ。2005年4月ごろ、生きている詩人に会うという目的のために、詩（のようなもの）を書き始める。同年5月から『現代詩手帖』の新人作品欄に投稿。2009年、第47回現代詩手帖賞を受賞。2024年、第1詩集『生きているものはいつも赤い』を思潮社より刊行。

受賞者コメント

初めて詩というものに触れたのはいつだったか、遠い記憶のなかの、ぼんやりとした一瞬を思い出してみる。

小さな子供には大きな国語の教科書。さらさらとして少し厚みのある紙。贅沢な余白に囲まれた文字、だけだったか、あるいは挿絵があったかもしれない。空中ブランコをしている女性の絵だったような気もするし、男性だったような気もする。曖昧な映像の記憶。けれど、中原中也の「サーカス」を読んだその時の感触は、深く記憶に残っている。

茶色い戦争、サーカス小屋、ゆあーん　ゆよーん　ゆやゆよん。

教科書で読んでから40年ほどが経って、中原中也賞を頂き、あの時の詩の感触がよみがえりました。いまもゆらゆらとゆれています。

ちょっと紹介！ 作品の世界

山の目

山の目に映るのは、わたしの村
自然の中で生まれて、切り拓いた
わたしだけの、村
　目を閉じれば
　まぶたの裏から村人がやってきて
　顔もないのに小判をくれる
わたしは怒っていたのか
村人は道化のふりをして、目の中でおどける
それは、現実の表面に足跡を残していって
ざらざらとして尊い、でも
当然、日は落ちるから
体を休ませたほうがいい、あなたも

―受賞作品
『生きているものはいつも赤い』所収
「山の目」より

高村 而葉
『生きているものはいつも赤い』
（思潮社）

TOPICS

市政トピックス

ウェブサイトでも公開中

市スポーツ特別表彰・市スポーツ協会表彰の表彰式を開催

2月12日（水）、各種競技の国際大会で優秀な成績を収められ、本市のスポーツ振興に寄与された8人に令和6年度山口市スポーツ特別表彰を授与しました。

また、山口市スポーツ協会に加盟する個人・団体で各種競技において優秀な成績を収められた22人と3団体に山口市スポーツ協会表彰奨励賞を、長年スポーツ協会のために尽力された6人に同功労賞を授与しました。

記念撮影の様子

市長は「本市では、スポーツを『する・みる・ささえる』の視点のもと、スポーツから生まれる絆や交流が、地域の活力につながるよう、さまざまなスポーツ施策を推進している。今後も各種スポーツ施策を展開し、本市が目指す『ずっと元気な山口』を実現してまいりたい」とあいさつしました。

問 スポーツ交流課☎083-934-2912

市美術展覧会大賞を小田伸次郎さんの作品「生命の樹・インド更紗」が受賞

3月2日（日）、令和6年度山口市美術展覧会の表彰式を行い、14歳から90歳までの市民からの応募作品143点のうち15点が入賞し、小田伸次郎さんの絵画「生命の樹・インド更紗」が大賞に輝きました。

大賞受賞作と小田さん（右）、市長（左）

市長は「創作された方々の個性が豊かに表現をされ、作品と真摯に向き合い、創作活動を大いに楽しんでおられる様子が伝わってくる」と述べました。

問 文化交流課☎083-934-2717

株式会社ポーラと包括連携協定を締結

3月7日（金）、株式会社ポーラと本市が、健康づくりや災害時の支援に関することなど、6項目について包括連携協定を締結しました。

協定書を手にする株式会社ポーラの安野執行役員（右）と市長（左）

市長は「本協定締結を契機として、本市が抱える幅広い分野の行政課題の解決をはじめ、市民サービスの向上や地域の活性化などが図られ、市民の皆様が安心して元気に暮らすことができるまちづくりがさらに進むものと大いに期待している」とあいさつしました。

今後、AIを利用した肌分析や血流計などを活用した健康増進につながるイベントなどを予定しています。

問 公民連携推進室☎083-934-2728

表紙の写真 今だけのコラボレーション

表紙の写真は、日本三名塔のひとつ、国宝瑠璃光寺五重塔と梅の花とのコラボレーションの様子です。

瑠璃光寺五重塔は現在、約70年ぶりの檜皮葺屋根の全面葺き替え修理、「令和の大改修」が行われています。2月上旬にこれまで塔を覆っていた工事用シートが外され、鉄骨の足場が残っているものの、1年6カ月ぶりに五重塔がその姿をあらわしました。

五重塔の周りには赤、ピンク、白の色とりどりの梅の花が咲き始め、久しぶりの再会を喜んでいるかのようです。

訪れた観光客は「梅の花がきれいに咲いている」「足場がとれたらまた来たい」と記念撮影を楽しまれていました。

足場付きの瑠璃光寺五重塔と梅とのコラボレーションという、今だからこその景観で、春の訪れを感じることができました。

問 広報広聴課☎083-934-2753

▲香山公園にて瑠璃光寺五重塔を彩る梅の花

山口県央連携都市圏域
山口ゆめ回廊
YAMAGUCHI YUME KAIRO

圏域の市町におでかけしよう！
※詳細は、各お問い合わせ先へご確認ください。

圏域７市町のイベント情報

美祢　室内楽セミナー　秋吉台の響きコンサート 2025

第一線で活躍する演奏家による室内楽セミナーを開催。今年は、シューベルト作曲ピアノ五重奏曲「ます」をメインに、弦楽器が織りなす美しい室内楽の世界をお楽しみください。

▲詳細はこちら

日時　４月26日（土）15時～17時
所問 秋吉台国際芸術村（秋芳町秋吉50）☎0837-63-0020

萩　企画展「国境（くにざかい）を越えた益田家－石見からの移封－」

「中世益田氏」・「近世益田家」をテーマに島根県および益田市と連携した企画展を開催。益田家が萩市須佐へ移封されたことによる地域の変化や、引き継がれた宝物類について紹介します。

▲詳細はこちら

期間　４月26日(土)～６月16日(月)
所問 須佐歴史民俗資料館（須佐4441-10）☎08387-6-3916

津和野　亡国　南ベトナム　－戦争終結から50年－

桑原史成氏はベトナム戦争を垣間見るように、しばしばベトナムを訪れてきました。南ベトナムが消滅に至る節目で細やかながら撮影、記録した写真を展示します。

▲詳細はこちら

期間　４月18日(金)～７月16日(水)
所問 桑原史成写真美術館（後田イ71-2）☎0856-72-3171

山陽小野田　「10分でわかる山陽小野田市の歴史」

山陽小野田市の歴史や文化財をコンパクトにまとめて紹介しています。
主な展示内容（予定）：厚狭毛利家、開作のまち、山陽道、笠井順八のまちづくり、鉄道など

▲詳細はこちら

期間　４月１日(火)～５月21日(水)
所問 山陽小野田市歴史民俗資料館（栄町9-21）☎0836-83-5600

宇部　馬場良治展　～四季 飄飄～

宇部市在住の修復家・日本画家　馬場良治（1949年－）が描く繊細な自然美と四季の移ろいを表現した作品展を開催します。

▲詳細はこちら

期間　４月26日(土)～６月29日(日)
場所　ときわ湖水ホールアートギャラリー（沖宇部254）
問 宇部市文化振興課 ☎0836-34-8562

防府　春の幸せますフェスタ 2025

ルルサススプリングフェスタ、吹奏楽幸思演同時開催！賑わいのあるイベントや市内学校の吹奏楽演奏など春の防府を存分に楽しめる一日です。

▲詳細はこちら

日時　４月29日（火・祝）10時～16時
場所　笑顔満開通り周辺（防府駅周辺）
問 幸せますフェスタ実行委員会事務局（商工会議所内）☎0835-22-4352

交通政策課からのお知らせ

コミュニティバス「吉敷・湯田ルート」のダイヤが改正となります

令和７年４月１日から、コミュニティバス「吉敷・湯田ルート」の東山通り・大橋まわり（山口駅→松美町→幸町→湯田温泉病院→山口駅）のダイヤが改正され、最終便（山口駅19時35分発、20時23分着）が減便となります。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、改正後の時刻表は、ウェブサイト（右の二次元コード）や山口市総合時刻表（令和７年４月１日改訂 通年版）、山口市コミュニティバス時刻表でご確認ください。

問 コミュニティバス事業について…交通政策課 ☎083-934-2729、
コミュニティバスの運行、時刻について…防長交通株式会社 山口営業所 ☎083-922-2555

Check

イベントカレンダーはWEB版市報でご覧ください

今月のイベントカレンダーは、WEB版市報やまぐち（下の二次元コードから）に掲載しています。

魅力あふれる道の駅を目指して

「山口きらら博記念公園」に隣接する、道の駅「きらら あじす」が、３月にオープン20周年を迎えました。これまで足を運んでいただいた多くの皆様に感謝を申し上げます。

１０２３㎢という広い市域を有する本市では、市内に５カ所ある道の駅が地域振興や経済の活性化、防災の拠点として重要な役割を担っています。こうした機能を強化するために、令和８年度には、道の駅「仁保の郷」のリニューアル、令和10年度には道の駅「あいお」の移転オープンを予定しています。また、市内には他に「長門峡」と「願成就温泉」という魅力あふれる道の駅があります。

新年度を迎え、進学や就職、転勤などにより、山口市での新生活をスタートされている方もおられると思います。皆様には、新しい環境に早く慣れていただきたいと思いますし、こうした道の駅などを巡り、本市の魅力に触れてもらうことで、毎日を生き生きとお過ごしいただければと願っております。

山口市長　伊藤和貴

この広報紙は再生紙を使用しています。
処分する際は、「新聞紙」として古紙類の分別収集に出しましょう。

市政情報を「山口市LINE公式アカウント」で配信しています。

市報やまぐち　４月１日号
発行　山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1　https://www.city.yamaguchi.lg.jp
編集　総合政策部広報広聴課 ☎083-922-4111（代表）／印刷　株式会社マルニ